

前山小学校 防災教育への取組（2016.10 現在）

「学校安全」の3領域：【生活安全】【交通安全】【災害安全】

「災害安全」を構成する3つの活動：【防災教育】【防災管理】【組織活動】

前山小学校が2学期まで行ってきた「災害安全」に関する取組を、3つの活動の考え方にあてはめてまとめると、以下のようになります。



【防災教育】

防災学習と防災指導

- 防災学習：地域に根差しこれまでから一緒に学び活動してきた学生ボランティアによる。（9.6）
- 関連学習：「復興する前山地域を描こう」図画の時間 6年生（10月）
- 防災マップ作り → 「前山地域を知る」という取組となっていく。
 - ①オープンスクールでの防災授業：全校児童によって地域別におこなった。（6.8）
 - ②防災下校：4年生以上の児童が保護者とともにフィールドワークをおこなった。（8.21）
 - ③地域学習 i 砂防ダムなど復旧状況中心（10.11） ii 圃場整備や復興支援事業中心（10.17）
 - ④授業研究：地域学習の成果を踏まえたマップ作り授業を行い、全職員で研究協議する。（10.24）

【防災管理（対人管理）】 c f.（対物管理）

避難訓練等

- 引き渡し訓練《豪雨対応》（6.8）
- 避難訓練《火災対応》（10.18）

地元消防団員さんから、全校児童に対して消防団の仕事についてのお話をしていただき、身近なものとするとともに、低学年児童には消防車体験もさせていただいた。
- 不審者対応訓練：「こども 110 番の家」の確認（11.14）

連れ去り等の防止活動であるが、防災の面においても、普段から地域の方々と顔見知りになっていくという取組は、避難行動を円滑にすることにつながっていく。
- 避難訓練《震災対応》 メモリアルデー（1.14）と抱き合わせにすることも考える。その際の避難場所は、2階フレンドスペースとしたい。

【組織活動】

地域との協力体制づくり

- 防災講演会（1.14）

メモリアルデーに、当地域の当時の状況を踏まえた形で、今後に起こり得る「もしもの時」への適切な対応をお話いただく。

当地域の方から、被災した当時の対応の様子や、そこから言える当地域における防災や減災のための知識や技能等について教えていただく予定。（「暮らしの安全課」から講師を招く）
- 自治会役員さんたちへの防災教育の取組の周知等（役員会での話題提供 年3回 7.24 10.23）

→ 「防災教育連絡会議」につながっていくことを期待。

成果と課題について、10月20日現在の様子をお示しします。

【成果】

○地域と連携するという点について、昨年度以上の成果をあげることができています。

- ・オープンスクールの取組など、保護者や地域の方の来校時に防災教育に関する取組を行って、地域への周知を推進できています。
- ・積極的な交流によって、様々な機関や地元団体の方々との関係が一層深くなりつつあります。
- ・マップ作り等の防災学習の取組を通信やHPなどを通じて周知することに努めています。
- ・自治会役員さんたちに対して、防災教育の取組等を直接お知らせすることができています。
- ・ゲストティーチャーとして地元の方に多数協力いただき、身近で顔の見える関係性の中で、防災教育を行うことができています。

→ こうした取組の中で、防災教育のみならず、ふるさとに対する愛着と誇りを身につけていけるような取組に発展していています。

○防災教育が、「ふるさと教育」の中の一領域のような位置づけとなってきました。

- ・災害時に苦勞を乗り越えていかれたことを改めて聞き知り、また、復興にかける地域の方々の思いや取組を実際に学んでいます。これは、「ふるさと教育」そのものの実施と言えそうです。



【課題】

○「防災マップ作り」の取組では、総合的な学習の時間を相当多く使っています。したがって、来年度は、今年度作成した防災マップを活用して取扱い時間を短縮し、中心的に学習する学年も決めて、教育課程内に無理なく入れていく必要があります。現時点では、3年生での取組としてはどうかと、係内で話し合っています。

○教科の学習において、(ふさわしい教材があるときには、) 地域防災に関する知識・技能や復興への意欲及び態度の形成につなげていく部分も含んではどうかと考え始めています。(例 本年度：6年生の図画、来年度：5年生の理科や社会科でも取り組めないか考えています。)



写真

- ①防災学習での一コマ (9.6)
- ②地域学習 i (砂防堰堤等) に行ってきたまとめ (10.11)
- ③地域学習 ii (栗園予定地) での一コマ (10.17)